

## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社 日本創発グループ 上場取引所 東  
 コード番号 7814 URL <https://www.jcpg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菊地 克二 TEL 03-5817-3061  
 四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 2024年5月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績 (2024年1月1日~2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA※		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	19,570	2.0	1,461	5.6	1,540	△1.8	2,008	△1.5	1,028	△19.9
2023年12月期第1四半期	19,190	24.3	1,383	34.7	1,568	68.4	2,038	35.0	1,284	101.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 956百万円 (△32.3%) 2023年12月期第1四半期 1,413百万円 (99.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	20.52	—
2023年12月期第1四半期	26.63	—

#### (2) 連結財務状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	79,118	16,886	20.6	324.60
2023年12月期	75,552	15,866	20.4	307.67

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 16,274百万円 2023年12月期 15,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	2.75	2.75	3.25	3.25		12.00
2024年12月期	3.25					
2024年12月期 (予想)		3.25	3.25	3.25		13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA※		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	2.9	3,500	1.1	4,000	0.2	6,250	1.2	2,600	3.7	51.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ EBITDA=経常利益+減価償却費+のれんの償却額+金融費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3 社 (社名) 共同製本株式会社、除外 1 社 (社名) 成旺印刷株式会社  
望月印刷株式会社  
株式会社アスコム

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	51,000,000株	2023年12月期	51,000,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	864,223株	2023年12月期	864,191株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	50,135,806株	2023年12月期1Q	48,243,723株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書 .....	4
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書 .....	4
第1四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）におけるわが国経済は、物価上昇や人手不足による設備投資の遅延、個人消費等に足踏みがみられたものの、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加、各種政策の効果によるサービス消費の回復、企業業績が好調に持続するなど、社会・経済が活性化し、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、世界的なインフレ率の高止まりによる金融引き締めが継続している状況、不動産市場の停滞による中国経済の先行き不安、長引くウクライナ紛争や中東情勢などの不安定な国際情勢による地政学リスクの影響などが国内景気の下押しリスクとなっており、物価上昇や為替動向、金融資本市場の変動など、先行き不透明な状況が続きました。

当社企業グループの事業の環境につきましては、電気・ガスの燃料、紙やインクなどを含めた原材料価格は未だ高水準で推移する厳しい状況が続きました。一方、インバウンド需要やサービス消費が順調に回復し、企業広告活動は継続して活性化の動きが見られ、販促ツール・サービスの需要が増加いたしました。当社企業グループは、お客さまにより付加価値の高いサービスを提供するため、事業環境の変化や事業戦略に基づき将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。当第1四半期連結会計期間末において、印刷関連事業では、創業以来110余年の業歴を通してノウハウの蓄積に基づく高品質の造本技術を持ち、厚物製本を含め広範な営業品目を備え、後加工・アッセンブリーサービス、輸送納品まで含めたワンストップサービスを提供して事業を展開する共同製本株式会社、ポスターやパンフレットの一般印刷やオンデマンド印刷業務、それに付随する企画・デザイン業務から、DTP技術を応用したホームページ制作・デジタルカタログの企画・デザインの請負まで、埼玉県を地盤として地域に根差した印刷事業を展開する望月印刷株式会社が連結子会社として参画いたしました。また、ITメディア セールスプロモーション分野では、1996年8月設立され、主にビジネスや経済、健康、教養、生活実用等のジャンルの書籍出版、著者のテレビ出演や講演の企画・実施、マネジメントなど、高い企画力・編集力を原動力に、独自性をもった運営方法で出版事業を展開する株式会社アスコムが連結子会社として参画いたしました。当社企業グループは、企画提案・製造・制作から配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は195億70百万円（前年同期比2.0%増）となりました。また、営業利益は14億61百万円（前年同期比5.6%増）、経常利益は、主に持分法投資利益が前年同期に比して83百万円減の16百万円であったことにより15億40百万円（前年同期比1.8%減）となりました。経常利益に減価償却費、のれんの償却額及び金融費用を加えたEBITDAは20億8百万円（前年同期比1.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は10億28百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

なお、当社企業グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、共同製本株式会社、望月印刷株式会社及び株式会社アスコムを連結の範囲に含めたことにより、資産及び負債の額は総じて増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、以下のとおりであります。

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に、電子記録債権及び流動資産のその他に含まれる短期貸付金の減少がありましたが、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、土地、投資有価証券並びに投資その他の資産のその他に含まれる長期貸付金の増加により、前連結会計年度末に比べて35億65百万円増加し、791億18百万円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、主に、長期借入金及び退職給付に係る負債の減少がありましたが、買掛金、未払法人税等、流動負債のその他に含まれる未払金及び前受金並びに固定負債のその他に含まれる長期未払金の増加により、前連結会計年度末に比べて25億45百万円増加し、622億31百万円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に、配当金の支払いによる減少を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べて10億19百万円増加し、168億86百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期連結業績につきましては、2024年2月14日付「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,386	16,239
受取手形、売掛金及び契約資産	13,223	14,560
電子記録債権	2,782	2,483
商品及び製品	1,963	2,001
仕掛品	1,123	1,114
原材料及び貯蔵品	699	685
その他	3,535	2,074
貸倒引当金	△332	△333
流動資産合計	37,381	38,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,979	8,081
機械装置及び運搬具（純額）	2,750	2,933
土地	16,577	17,365
建設仮勘定	56	65
その他（純額）	450	467
有形固定資産合計	27,814	28,914
無形固定資産		
のれん	146	173
その他	794	835
無形固定資産合計	940	1,009
投資その他の資産		
投資有価証券	5,914	6,123
繰延税金資産	727	794
その他	2,807	3,487
貸倒引当金	△34	△38
投資その他の資産合計	9,416	10,367
固定資産合計	38,171	40,291
資産合計	75,552	79,118
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,778	5,332
短期借入金	25,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	3,500	3,500
未払法人税等	477	582
その他	5,430	6,650
流動負債合計	38,186	41,065
固定負債		
長期借入金	17,975	17,100
繰延税金負債	1,161	1,108
退職給付に係る負債	127	22
資産除去債務	174	156
その他	2,060	2,778
固定負債合計	21,499	21,166
負債合計	59,685	62,231
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	400	400
資本剰余金	4,692	4,692
利益剰余金	10,121	10,985
自己株式	△227	△227
株主資本合計	14,985	15,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	427
繰延ヘッジ損益	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	439	424
非支配株主持分	441	612
純資産合計	15,866	16,886
負債純資産合計	75,552	79,118

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	19,190	19,570
売上原価	13,737	13,571
売上総利益	5,453	5,999
販売費及び一般管理費	4,069	4,537
営業利益	1,383	1,461
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	3	3
受取地代家賃	81	60
持分法による投資利益	100	16
その他	62	75
営業外収益合計	257	164
営業外費用		
支払利息	37	44
貸貸収入原価	20	21
その他	14	18
営業外費用合計	72	85
経常利益	1,568	1,540
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	46
補助金収入	196	—
保険解約返戻金	99	30
負ののれん発生益	—	61
その他	—	0
特別利益合計	296	139
特別損失		
固定資産除却損	2	2
投資有価証券評価損	49	—
支払手数料	—	141
退職給付制度終了損	—	86
段階取得に係る差損	—	8
その他	20	2
特別損失合計	72	241
税金等調整前四半期純利益	1,792	1,438
法人税、住民税及び事業税	444	601
法人税等調整額	48	△134
法人税等合計	492	466
四半期純利益	1,299	971
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14	△57
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,284	1,028

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,299	971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	△17
繰延ヘッジ損益	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	113	△14
四半期包括利益 (内訳)	1,413	956
親会社株主に係る四半期包括利益	1,398	1,013
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△56

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期会計期間において、共同製本株式会社を、連結子会社成旺印刷株式会社の吸収合併により発行した普通株式の取得により子会社とし、また、望月印刷株式会社及び株式会社アスコムを、株式の譲受け及び第三者割当増資の引受けにより子会社とし、それぞれ連結の範囲に含めております。なお、連結子会社であった成旺印刷株式会社を、共同製本株式会社との吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月20日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を行うことを決議し、以下のとおり自己株式の取得を実施いたしました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るため。

## 2. 自己株式の取得に関する取締役会決議の内容

(1) 取得する株式の種類	普通株式
(2) 取得する株式の総数	1,881,100株（上限）
(3) 取得価額の総額	978,172,000円（上限）
(4) 取得する期間	2024年2月21日から2024年3月21日まで
(5) 取得方法	公開買付けによる

## 3. 本公開買付の概要

(1) 買付け期間	2024年2月21日から2024年3月21日まで（20営業日）
(2) 買付け等の価格	普通株式1株につき、金520円
(3) 買付予定数	1,881,000株
(4) 公開買付開始公告日	2024年2月21日
(5) 決済の開始日	2024年4月12日

## 4. 本公開買付による自己株式取得の結果

(1) 取得した株式の種類	普通株式
(2) 取得した株式の総数	1,710,000株
(3) 取得価額の総額	889,200,000円
(4) 決済日	2024年4月12日